

## を語る 1

おあまり  
青森市（青森県）

青森市長 鹿内 博  
しかない ひろし

### 合言葉は「まごころハネる 青森」 市民の力を結集し、「市民主役の元気都市・あおもり」

北のまほろば 青森

作家司馬遼太郎氏が、その著書

「街道をゆく」の中で「北のまほろば」と称えた私たちのまち青森市は、本州と北海道を結ぶ交通の要衝として栄えたまちであり、水産資源の宝庫である陸奥湾や国立公園



全国から観光客が訪れる、世界の火祭り「青森ねぶた祭」

園の一部である四季美しい八甲田連峰などの豊かな自然に囲まれている中核都市です。

世界の火祭り「青森ねぶた祭」には国内外から多くの観光客が訪れ、縄文の「三内丸山遺跡」と「小牧野遺跡」は世界文化遺産登録を目指しています。

#### 市民主役のまちづくり

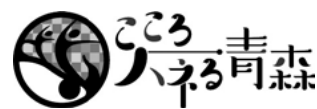
本市のまちづくりの主役は市民であり、市民参加と協働のまちづくりを目指し「あおもり市民100人委員広聴会」、1万人を対象とした「市民意識調査」や「まちづくり政策形成市民懇談会」「市民と市長のなんでもトーク」などさまざまな機会を設けて、市民の皆さまのご意見をお聴きし、対話と合意形成に努めるとともに「コミュニティガイドライン」を策定

し、コミュニティ活動を支援してきました。

#### ねぶた、食、アート、音楽

本市は、「ホタテ」や「ナマコ」をはじめとする水産資源や、「りんご」や「カシス」、希少な日本短角種の「八甲田牛」などの多彩で豊富な「食」資源のほか、市民参加の火まつり「青森ねぶた祭」、津軽三味線や津軽民謡、棟方志功などの芸術作品、浅虫をはじめとする温泉など、地域資源に恵まれています。

本年は、棟方志功展や生誕80年を記念して寺山修司展・沢田教一展を開催するほか、「食、アート、音楽」を中心とした「あおもり秋まつり」の実施、冬と雪イベント「雪灯りまつり」「灯りと紙のペーパージュエント」を開催します。また、



観光プロモーションキャッチフレーズ「まごころハネる 青森」

八甲田山の春スキー、夏山、秋の紅葉、酸ヶ湯温泉も魅力十分です。さらに、北のまほろば歴史館、縄文の学び舎・小牧野館と小牧野の森・どんぐりの家を開館するとともに、「東北六魂祭」「東北復興大祭典なかの」やアメリカカロサンゼルス市で「2015年2世ウイーク祭り」でのねぶた運行に協力するなど、本市の魅力を内外に発信します。

#### 青函圏の中枢都市

青函圏の中心に位置する本市は、県庁所在都市としての行政・情報発信機能が充実し、4年制大学が公立、県立、私立合わせて4校開設されているとともに、新幹

線、空港、高速道路、海上交通などの高速交通機能を整備していることから、青函圏域の中核都市としてのリーダーシップを發揮し、経済、教育、文化、観光、生活、スポーツ、福祉など、各分野の充実を図ってまいります。

### 北海道新幹線の開業 魅力溢れる青函圏の形成

平成28年3月予定の北海道新幹線新函館北斗駅の開業は、平成22年12月の東北新幹線新青森駅開業に続き、2度目の開業となります。

そこで、本市では観光プロモーションキャッチフレーズを「こころハネる 青森」としました。青森ねぶた祭りの踊り手を跳人（ハネト）といいます。青森ならではの魅力を跳人（ハネト）のよう楽しめる体験型の観光メニューを多く提供したいと考えております。

また、開業を機に青森県と道南の各地域とが協力連携し、「青函圏博」の開催やディスプレイナーションキャンペーンの展開などで、魅力溢れる180万人青函圏の形成を目指します。

### 大型クルーズ船の寄港が大幅に増加

本市は、1908年（明治41年）の青函連絡船航路以降、港とともに発展してきました。1988年（昭和63年）の青函トンネルの開通により、青函連絡船は本州と北海道の架け橋としての役目を終えました。近年、中央埠頭が中心市街地に近いこともあり青森港への大型クルーズ船の入港が増加しています。

本年度の青森港への大型クルーズ船の入港は、これまでで最多の計20回を数え、約2万6000人もの国内外からのお客さまが本市を訪れました。入港時にはボランティアの方々やねぶた囃子など官民一体となった「おもてなし」で出迎えしており、今後もクルーズ船の誘致に力を入れてまいります。

### 成長戦略

本市では、人口減少対策として平成25年10月に「基本的な方向性」を定め、平成26年8月に私を本部長とする「青森市成長戦略本部」を立ち上げ、本部内のシンクタンク機能を担う「成長戦略研究セン

ター」において、人口減少・少子高齢化への対応と方向性をテーマに調査・研究を進め、今後の取り組みを打ち出していきたいと考えています。また、平成26年「地域おこし協力隊」隊員3名を首都圏などから公募し活動していただけでなく、総合的な施策の展開とともに自分たちのふるさと青森に愛着と自信と誇りを持てるような地域づくりを進めることで人口減

### プロフィール

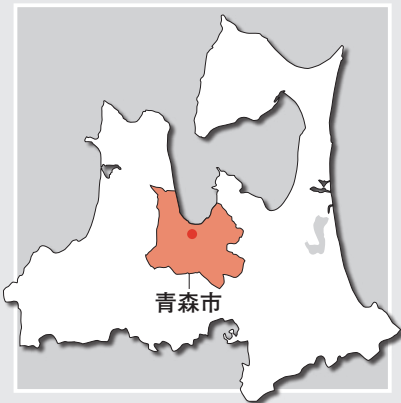
- ◆ 面積 824.62km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 29万5898人
- ◆ 世帯数 13万6561世帯

〔将来都市像〕水と緑と人が共生し地域の絆で築く市民主役の元気都市・あおもり

〔まちの特徴〕水産資源の宝庫である陸奥湾や四季美しい八甲田連峰などの豊かな自然に囲まれている中核都市  
〔市町村合併〕平成17年4月 青森市と浪岡町の合併により、新「青森市」誕生



青森市長  
鹿内 博



〔特産品〕りんご、ホタテ、なまこ、カシス、八甲田牛、生姜味噌おでん、味噌カレー牛乳ラーメン  
〔観光〕ねぶたの家ワ・ラッセ、三内丸山遺跡、棟方志功記念館、八甲田、浅虫温泉、浪岡城跡  
〔イベント〕青森ねぶた祭、あおもり秋まつり、あおもり雪灯りまつり、あおもり灯りと紙のページェント

### 結び

少問題を乗り越えたいと考えています。  
今後も「市民主役の元気都市」の実現を目指し、市民参加の市政と市民協働のまちづくりで各施策を展開したいと考えておりますので、ぜひ、豊かな恵みや歴史・文化に触れ合うことのできる青森市にお越しください。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## チャレンジing 那須塩原 一歩踏み出す人を応援するまち

### チャレンジする人が 住むまち

那須塩原市は、首都圏から150kmの栃木県北部に位置し、那須火山帯に属した湯量豊富な塩原温泉郷や板室温泉、三斗小屋温泉をはじめ、箒川沿いの四季折々に彩りを見せる塩原溪谷や沼ッ原湿原など山岳部が面積の半分を占める観光資源に恵まれた自然豊かなまちです。平地部には、広大な那須野が原の扇状地が広がり、農業、観光業、商業、工業などの多彩な産業がバランスよく展開され、地域資源の宝庫ともなっています。牛乳の生乳粗生産額は本州第1位を誇ります。

この地は、800年余り前に源平の戦を制した源頼朝が、その勢力を天下に知らしめるため大規模

な巻狩りを行ったと伝えられています。扇状地のため、水に恵まれず一部の地域を除くと人も住めない荒野でしたが、明治初期からの農場開拓と、日本3大疏水に数えられる那須疏水の開削を経て、潤いのある今日の那須塩原市が形成されてまいりました。

### 定住促進計画を策定

さて、平成26年は、人口減少問題が大きくクローズアップされた年でありました。今やすべての自治体が危機感を持ち、人口減少時代における都市間競争に勝ち残るための方策を練っていると思います。

市長に就任して4年目となりますが、これまで一貫して将来の人口減少への危惧と、持続可能な行政経営を課題として掲げてまいり

ました。そのため、就任して2年間は「入るを量りて出ずるを為す」の精神の下、厳しい行財政の見直しを行い健全化に努め、捻出した財源を将来に向けて投資する。この方針で財政運営を進めてきたところです。

そして、手探りの状態の中、どうやったら子育て世代を呼び込めるか知恵を出し合い、平成26年3月に、定住促進計画を策定し、「人々から選ばれらるまちづくり」「人口の減らないまちづくり」の実現に向け一丸となってチャレンジしてまいります。

主な取り組みを紹介します。

### 子育て支援と英語教育の推進

まずは待機児童ゼロを目指した保育園や認定こども園の整備を



ALT(外国語指導助手)を全小中学校に常駐配置

行っています。子育て世代が安心して働けるよう応援するため、平成27年度は子育て応援券の交付も予定しています。

また、これからの時代、人材の育成が重要と考えます。特に次代を担う子どもたちへの教育。そのため、外国語指導助手(ALT)の市内全33小中学校への常駐配置およびタブレット端末を活用した反転授業の導入による、21世紀型学力の育成を目指す特色ある教育を推進してまいります。子どもたち



日本最大級の足湯「塩原温泉湯っ歩の里」

性を生かし、新幹線通勤をする転入者に対し、最大月1万円の定期券助成を始めました。また、三世同居・隣居世帯の住宅取得・増改築などの助成制度に

も楽しみながら学んでおり、国際感覚を身につける一助となればと期待しています。さらに、体制も強化します。平成27年度は「子ども未来部」の新設や待機児童解消などのために設置した施設整備基金の活用などにより、未来を担う子どもたちへの投資に力を注いでまいります。

## 新幹線通勤・3世代住宅への助成

本市は、東北新幹線や東北縦貫自動車道ICといった国土軸となる交通網が形成されるなど恵まれた地域特性を有しています。特に、那須塩原駅は新幹線なすの号の始発駅となっており、東京駅までの70分をゆったり座って通勤することができます。その優位性を生かし、新幹線通勤をする転入者に対し、最大月1万円の定期券助成を始めました。

より、離れて暮らす祖父母と子育てに奮闘する若い世代の新たな生活を支援し、首都圏からの転入促進を図っているところですが、観光が先導役

観光業は本市産業の柱の一つであります。観光が活性化するとその効果がさまざまな業種に波及することから、観光関連産業の充実・強化のため、平成25年度に、民間から観光の専門家を公募し、幹部職員として採用。そのノウハウを生かし次々と新事業を立ち上げ軌道に乗せております。具体的には、外国人誘客のための上海事務所開設、首都圏での大規模な観光プロモーションの実施や、観光専用サイト「ココシル那須塩原」での情報提供、観光振興東京事務所開設などさまざまな戦略、手法により観光客の増加に努めています。

その効果が現れ、観光経済新聞主催の「にっぽんの温泉100選」で、平成26年、塩原温泉が47位にランクインしたのに加え、選外からのジャンプアップが認められ特別賞を受賞したところですが、また、ふるさと納税のお礼品と

して旅館宿泊利用券も好評を博しており、観光が先導役となり本市に関心を持っていただくことで、定住人口の増加につなげていきたいと考えております。

## 観光が先導役

## 人々から選ばれるまちへ

本市には、明治の元勲をはじめ、多くの人たちの開拓の挑戦を受け入れてきた「選ばれしまち」としての歴史があり、今なお、この時代に培ったフロンティアスピリッツを引き継ぐ文化・風土が息づいております。

これからもさまざまな挑戦を受け入れ、それを支援する人々や土壌のあるまちとして「チャレンジing 那須塩原」一歩踏み出す人を応援するまちを市のブランドメッセージに据え、市民と行政が一体となって市の魅力を発信してまいります。

## プロフィール

- ◆ 面積 592.82 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 11万8516人
- ◆ 世帯数 4万7026世帯

- 〔将来都市像〕人と自然がふれあうやすらぎのまち 那須塩原
- 〔まちの特徴〕広大な那須野が原に育まれた緑と那珂川、箒川の清らかな流れに恵まれた、生乳生産本州1位のまち
- 〔特産品〕牛乳、いちご、高原野菜（大根、かぶ、ほうれん草）



那須塩原市長 阿久津憲二



〔観光〕板室温泉、塩原温泉、天皇の間記念公園、沼ッ原湿原、竜化の滝、巨岩吊橋、湯っ歩の里、もみじ谷大吊橋、乙女の滝、那須ガーデンアウトレット、千本松牧場、ハンターマウンテン塩原

〔イベント〕那須野巻狩まつり、那須塩原ハーフマラソン、西那須野産業文化祭、那須塩原市畜産フェア、塩原温泉湯けむりマラソン全国大会、那須野ふるさと花火大会、塩原温泉古式湯まつり

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# 地域資源の活用と 新たな魅力の創出を目指して

## 大井川の清流に育まれた 島田市

島田市は、静岡県の中央に位置し、市の中央部を大井川が流れています。「箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川」と歌われたように、東海道の宿場町として、川留めにより、多くの人々



ギネス認定されている世界一長い木造歩道橋「蓬萊橋」と富士山

が島田宿・金谷宿に逗留し、さまざまな文化がもたらされています。

また、市域315km<sup>2</sup>のうち北部地域を中心に、約48%の面積を占める緑豊かな森林が広がり、南部は一級河川・大井川の扇状地と牧之原台地からなっています。牧之原台地には、明治の初め勝海舟らの協力を得た入植者によって開墾された東洋一の大茶園が広がり、新茶の季節に眼前に広がる光景は、大井川の清流が注がれる駿河湾や世界文化遺産の霊峰富士の眺望と一体となった雄大なものです。

## 高速交通結節点の 地の利を生かして

本市は、東西軸に東名高速道路、国道1号、東海道本線が横断する広域交通の利便性の高い地域でしたが、平成21年に富士山静岡

空港が開港し、平成24年から新東名高速道路島田金谷ICが供用されたことに加え、南北軸に、御前崎港から東名高速道路相良牧之原ICを経由して島田金谷ICに接続する地域高規格道路の整備が進められております。陸・海・空の交通拠点がネットワーク化した交通の要衝としての優位性を生かし、企業誘致の促進、新産業の創出、観光振興など「人・モノ・情報」が行き交う交流拠点として発展することを目指しています。

## 世界に発信する 茶産業のまち

本市では、市内の至るところでお茶の栽培が行われています。特に北部地域で栽培されたお茶は高品質で、深蒸し煎茶として全国ブランドに成長した「川根茶」に「島

田茶」「金谷茶」を加え、全国展開を図っています。

茶価の低迷や消費の縮小など、近年の茶業の状況には厳しいものがありますが、若手茶農家を中心となり茶園の基盤整備を進めることにより、安定的な営農を実現し、農業後継者の確保につなげていく取り組みを進めています。

また、合併前の旧金谷町で建設された「お茶の郷博物館」について、静岡県が「茶の都」構想の中心拠点とする計画が明らかにされました。国内および世界規模の茶に関する情報の集積、発信機能などの拠点施設として、本市を含めた県全体の茶産業の振興・発展が図られるものと期待しているところでです。

## 大好評！ しまだ大井川マラソン

大井川の河川敷に整備されたマラソンコース「リバティ」では、毎年10月、フルマラソン大会「しまだ大井川マラソンinリバティ」が



第6回しまだ大井川マラソンinリパティ

開催され、全国のマラソンファンから高い評価を得ています。平成26年の第6回大会では、9000人の参加定員が3日間で埋まってしまったことが人気の高さを証明しています。

この大会は、「島田型のおもてなし」として市民参加型で実施され、給水や給食、ゴール後のフォローまで、2000人を超す市民ボランティアが対応しています。会場では、多くの模擬店が店を出し、応援に駆け付けたランナーの家族もそろって地域の名産品を堪能することができます。また、ラ

ンナーの疲れを癒やす施設ともなる2つの天然温泉があるほか、駅周辺の飲食店は、「しまだ乾杯タワー」として参加しています。

このような市民参加の「おもてなし」が、全国からの参加者の心をつかんで離しません。ランニングウェブサイトでRUNNETでも「全国ランニング大会100撰」

に選ばれるほど高い評価を得て、リピーターが増え続けています。このマラソン大会を日本一の大会に育て上げ、本市のスポーツ・文化・観光による交流人口の拡大につなげてまいります。

## 人口減少への対応

昨今の人口急減、超高齢化という大きな課題に対処するため、本市では、県内でいち早く「島田市まち・ひと・しごと創生推進本部」を立ち上げました。この課題に対応する定住促進化策の一環として、子育てのあらゆる悩みの相談・支援のための「子育てコンシェルジュ」の配置や、若年層の結婚から子育てまでの切れ目のない支援を行うため、「地域おせっかい人」の養成などの取り組みを進めています。このような独自性を生かした子育て施策を充実することにより、市民が安心して働き、結婚・子育ての希望を実現し、将来に夢や希望を持つことができる魅力あふれる地域づくりを目指しています。

## むすびに

本市は、平成17年5月の旧島田

市と旧金谷町との合併により、新たな島田市として誕生しました。その後、平成20年4月の川根町との合併を経て、本年5月には新市誕生10年の節目を迎えます。これまでの歩みを振り返るとともに、市民の皆さまが合併の効果を等しく享受できるよう、また、新たな10年に向かうステップとして、市民憲章の制定、島田の逸品を選定

## プロフィール

- ◆ 面積 315.88km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 10万837人
- ◆ 世帯数 3万6455世帯

〔将来都市像〕人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田

〔まちの特徴〕大井川の恩恵を受けた美しい自然と歴史・伝統のあるまち

〔特産品〕茶、みかん、レタス、ばら、トルコギキョウ、ガーベラ、地酒、和菓子、帯シャツ、志戸呂焼

〔観光〕蓬萊橋、島田市博物館、大井川川越遺跡、ばらの丘公園、お茶の郷



島田市長  
染谷絹代



博物館、旧東海道石畳、諏訪原城址、川根温泉、伊太田代の郷温泉、大井川鉄道SL、中央公園ミニ鉄道

〔イベント〕大井川大花火大会、しまだ大井川マラソンinリパティ、ばらの丘フェスタ、島田大祭（帯まつり）、島田鬻まつり、東光寺猿舞、SLフェスタ、金谷茶まつり、川根桜まつり、野守まつり、フォトロゲイニングNIPPON島田、千葉山智満寺鬼払い

し、「島田ブランド」としてアピールする事業など、市のイメージを内外に発信する取り組みを積極的に進めてまいります。

今後とも、私のモットーである「公平、公正で、市民の声が届く市政の実現」を基本理念に、「住んでよかった」と言われる一層魅力と活力に満ちた島田市の実現に向け邁進してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

## みなまた 水俣市（熊本県）

水俣市長 西田弘志  
にしだひろし

# わが

## 人が行きかい、ぬくもりと活力ある 環境モデル都市みなまた

### はじめに

水俣市は、九州の熊本県の南端にあり、鹿児島県との県境に位置しています。市東方の九州山地から不知火海へ流れる水俣川流域を地域に持ち、その河口部に市街地



天皇后両陛下のご臨席の下に開催された「全国豊かな海づくり大会・放流事業」

が広がっています。市の東西には国道268号が、南北には国道3号と九州新幹線、肥薩おれんじ鉄道が通っています。

観光においては、深緑と川のせせらぎが心地よい山の「湯の鶴温泉」、日本の地中海と称される不知火海を望む海の「湯の児温泉」と2つの良質な温泉を有しています。また、エコパーク水俣のバラ園や中尾山のコスモス園などの整備も進み、おかげさまで近年多くの観光客でにぎわうようになってきました。

物産としましては、年間を通じて温暖な気候ではぐくまれるデコポンなどの柑橘類、サラダたまねぎ、お茶、太刀魚、しらすなど豊富な山海の恵みを水俣ブランドとして、多くの皆さまにご愛顧いただいております。

### 環境モデル都市みなまた

ご存知のように本市は、水俣病という世界に類例のないといわれる厳しい公害の経験と教訓をもとに、平成4年に「環境モデル都市づくり宣言」を国内で初めて宣言し、これまで市民総参加で環境と経済が調和した、心豊かで活気ある輝くまちづくりを進めてまいりました。その結果、平成20年には政府による「環境モデル都市」に選定され、さらに平成23年には、全国のNGO環境団体ネットワークによる環境首都コンテストで、日本で唯一の「環境首都」の称号を得るに至りました。

また、平成25年度は、歴史的な行事として、世界約140カ国の国と地域から約1000名のご参加をいただいた「水銀に関する水

俣条約外交会議」や、天皇后両陛下のご臨席の下、「全国豊かな海づくり大会・放流事業」を本市で無事開催することができました。今後はこれら二大行事も生かして、日本の環境首都としての取り組みをさらに進めながら全国に向けて発信してまいりたいと考えています。特に、国においては地方創生が進められておりますが、やはり地方が元気でなければ、ゆくゆく日本は衰退してしまいます。地域の個性を生かし、首都圏への人口の過度の集中を是正しながら、「人が行きかい、ぬくもりと活力ある環境モデル都市みなまた」を目指して、「市民が主役、市民とともに輝くまちづくり」をキーワードに、環境にも人にも優しい豊かな水俣創生を目指していきます。

### 水俣市政をあずかって

私は平成26年2月の市長就任以来、ノーサイドの精神でいろんな立場の方々の話を聞きながら市政

を進めてきたつもりです。市民との直接対話を大切に、地域懇談会、市長ランチミーティング、車座懇談会をはじめ、トップセールスによる企業訪問や各種PR活動、全国で活躍する地元出身者や国会議員、各省庁への働き掛けなどに努めています。今後もこの姿勢を貫き、立場や考え方の違いがあってもお互いを尊重し理解・協力し合う「もやい直し」の精神を基に市民協働での市政を進めていきたいと思えます。

市民との懇談の中で一番よく聞かれることが雇用問題ですので、新しい事業の育成とエコタウンを核とした環境産業にも力を入れていきます。また、企業誘致も大事ではありますが、まずは地場企業に元気になってもらおうと市独自の地場企業支援補助金を積極的に活用いただいております。依然として地域経済は予断を許さない状況ですが、少しずつでも雇用創出を前に進めていくつもりです。

市長第一の職務は、市民の生命財産を守ることです。平成26年は広島のと砂災害、御嶽山の噴火など日本各地で大きな災害がありました。多くの犠牲者が出たことは

記憶に新しく、心が痛みます。本市も平成15年の豪雨災害で19名もの尊い命が奪われています。そこで、自主防災組織なども含めた市全体の防災体制を強化し、災害に強い安心安全なまちづくりを形成していきます。

また、人口減少も大きな課題でありますので、移住のワンストップ窓口をつくりU・J・インターンへの対応に努め、空き家バンクなどを創設して定住化を進めていきます。さらに、昨今おいしいと評判の水俣ちゃんぽんやスイーツなどの新しいイメージを水俣ブランドとして積極的に発信し、多くの方々に本市へお越しいただき、交流人口の増加にもつなげていきたいと考えています。

### おわりに

平成26年10月の献穀事業においては、熊本県の代表として米と粟を皇居へ奉納する機会をいただきました。その時、両陛下から「全国豊かな海づくり大会はご苦労様でした。」とお声を掛けていただきました。市長職の重みを実感するとともに、改めて水俣を元気なまち、住んでみたいまちにして

いかなければならないと思えました。市民が「水俣に生まれて良かった。水俣で育ってよかった。水俣は良かとこばい！」と胸を張って言える、そんなまちづくりを今後も進めていきます。

### プロフィール

- ◆ 面積 162・90km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 2万6392人
- ◆ 世帯数 1万2125世帯

〔将来都市像〕人が行きかい、ぬくもりと活力ある「環境モデル都市みなまた」

〔まちの特徴〕不知火海を望む美しい海岸や、自然豊かで情緒溢れる温泉、温暖で山海の恵みある環境モデル都市

〔特産品〕サラダたまねぎ、お茶、デコポン、甘夏、はぜの実、寒漬、太刀魚、しらす、チャンポン、スイーツ

〔観光〕湯の児・湯の鶴温泉、徳富蘇峰・蘆花生家、エコパーク水俣バラ園、湯出七滝、湯の児海水浴場、中尾山コスモス園

〔イベント〕湯の児桜まつり、ローズフェスタ、みなまた港フェスティバル、棚田のあかり、恋龍祭、水俣競り舟大会、湯の鶴紅葉祭、久木野しし鍋マラソン大会、中尾山コスモス祭り



水俣市長  
西田弘志



市民協働で環境の取り組み（ごみの24分別収集）

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。